

## 第6回流山市補助金等審議会会議録

- 1 開催日時 平成25年12月17日(火) 午後3時
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎第302会議室
- 3 出席委員 伊藤会長、山口副会長、西村委員、前田委員、松本委員、柴委員
- 4 欠席委員 廣田委員
- 5 事務局 安井財政部次長兼財政調整課長、伊藤財政調整課長補佐、菅原副主査、古川臨時職員
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 題  
(1) 答申素案について
- 8 配付資料  
(1) 答申書素案

開 議 15時00分

(伊藤会長)

第6回流山市補助金等審議会を開催いたします。

本日の委員の出席は、出席6名、欠席1名廣田委員がお休みとなっています。会議は成立していることをご報告します。

なお、流山市では「審議会等の会議の公開に関する指針」を策定しており、原則公開となっておりますので、本審議会も公開といたしますので、ご了解をいただきたいと思っております。

では、事務局さんから連絡事項がございましたらお願いします。

(事務局)

今日は、最終的に修正しました答申書素案をお持ちしました。前回訂正があっ

たところは赤字で示させて頂きました。事務局の方からメールで配信させて頂いた後、若干数字に動きがありました。答申書の5ページ表4の平成25年度と平成26年度に赤字のところがあります。この赤字部分で新規のところは特に変わりはないのですが、廃止の件数がメールで配信させて頂いたときよりも増えています。これはゼロ要求があった件数を21年度から統一して廃止のところに入れておりますので要求を頂いた時点で制度上は残っているものの要求額がゼロであったことから今回整理をしたものです。25年度においては、10件とさせて頂いています。答申を頂いた時までの要求でゼロ要求があったのは当時8件でしたが、ここに2件プラスして昨年度C評価で廃止ということで担当課の方から取り下げがあったものを含め10件としました。26年度は25年度と比較した中で0要求だったものが6件ございましたので計上させて頂きました。

次、7ページの表の6の9番防犯灯電気料金等補助金は先週お話したとおり、金額が変わったものです。また、50番の認可外保育園保育料助成金について現段階の予算編成で調整をさせて頂いている中で端数の関係で1000円だけ要求額が減りました。これにより合計額も変わっています。これに合わせて8ページの評価表の新規補助金の50番も同じように変わりました。以上です。

(伊藤会長)

それでは、本日は答申書の最終確認になります。残り一週間になりましたので余程大きな誤りがない限りは確認だけを行って来週への準備を進めてきたいと思います。よろしいでしょうか。何かご意見がありましたらお願いします。今、事務局から確認した数字ですが、その数字の変化によって本文及び冒頭での整合性は、さっと私が目を通した限りでは食い違いはないかと思います。

どうぞ、皆様のご意見をお願いします。

(松本委員)

一応、見直した限りでは大丈夫だとは思いますが最終回だからせめて赤く訂正した箇所を読むか何かした方がよろしいのではないのでしょうか。

(伊藤会長)

はい。そうですね。では、まず1ページの目次ですが皆さんからご指摘があったように1番「流山市補助金等の現状」ですが、「等」をつけるということですね。

それから2ページは、これまたご指摘があったように、冒頭の世界経済のところを改行するということと、3行目、「地方自治体制」というあいまいな言い方をしていましたが「地方自治体の財政」に変えました。それから ですが、協調する語句に変えて市民ニーズに合った補助金ということにしました。それから、その2行下の文章でグローバル化のところですが、「国際化」よりも一般的にグ

ローバル化とされていますので「グローバル化」にしました。そして「少子高齢化」のところですが、「高齢化」の前に「少子」を入れました。

また、下から3行目「平成26年度予算における補助金等について」の諮問の前の日付ですね。私も再三確認しましたが、「平成25年11月5日付」を入れました。

続いて3ページ目次と同様1、「流山市補助金等の現状」ですね。4ページは訂正なしですね。続いて5ページですが、いかがでしょうか。表4については、先ほど事務局からご説明がありましたのでよろしいでしょうか。表題だけ申し上げます。補助金の新規、廃止の件数(平成21年～26年度 予算要求分)です。2番、「審査結果の概要、評価方法」ですが、その他のところで、(平成25年度補正予算で増額となった補助金)というふうにわかりやすくしました。それで、またわかりやすくするために「今回の審査対象となったのは」のところの「新規、増額等、合計」は真ん中にもってきました。

それから下から3行目の「審査方法は」のところですが、「補助金案件別に「判断基準(「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」の5点の判断基準)」にしました。そして最後の行の「以下のとおり」で切らず、「以下のとおりである」にしました。

6ページの訂正はありません。そして7ページの「表-6」は数字を変更したことにより、私が目を通した限りでは数字にミスマッチはないかと思います。

表題「平成26年度予算要求補助金等調査票・補助金等適正化プラン」を「平成26年度予算要求補助金等調査票・補助金等適正化実行プラン」と従来どおりにしました。

それから8ページの認可外保育園保育料助成金の金額は先ほどご説明したとおりです。9ページから12ページは十分議論して決めましたので大丈夫だと思います。そして最後の13ページですが、「はじめに」とありますので「おわりに」に変えました。そして、その次からですが、「地方(地域)の発展についていえば、地方が持続的発展を進めるためには、地域がそれぞれ異なった風習、風土、多様な文化、産業構造を維持し、地元の資源を活用して、地域の多様性を発揮することこそ重要である」と。その後の「地域云々から必要となる」までは、そのままですが、その後の5行目の「今や」からですが、皆さんの意見をもとに、位置づけさせて頂いたのは、「今や人口減少・少子高齢社会の到来とともに、住民の暮らしやすい生活空間が大切で、たとえば地球温暖化による異常気象問題や環境破壊対策といった問題なども考慮に値し、今回の諮問対象の中に、環境政策課から「地球温暖化対策奨励金(増額)」が提出されたのも、時代を反映しているといえよう。」としました。

内容はちょっと変わるんですが、「ともあれ財政の健全化が重要であることは

いうまでもない」と。そして12行目ですが、「日々の暮らしを安全、安心」ということにしました。最近、いたるところで安全、安心はセットになって言われていますので。

その後の13ページの下から11行目ですが、「これからいずれにしても共通して強調されねばならない点は、時代変化の先取りと、市民ニーズへの対応などであり、それを進める上で効率性の重視と、無駄の排除に努める必要がある。したがって、まず現行補助金が必要か否か、適正かどうかについて検証することも考慮すべきであろう」ということにしました。

なんとか、最後まで終わりましたが皆さんいかがでしょうか。

(松本委員)

ちょっと発言してよろしいでしょうか。13ページの終わりの1行目の「地方(地域)の発展についていえば」のところですが、「地方」を「地域」と言ってよいからカッコ書きしているのだと思いますが、次の「発展についていえば、地方」が、になっていますが次も、「地域がそれぞれの異なった風習・風土云々」でいいと思うけど、「地方」を生かすのであれば一番最後のところの「地域が…」ここの「地方」と「地域」がおかしいから。一番最後の「持続的発展を進めるためには」、同じ前のところを「地方」とするなら、こっちも「地方」とするのではないかと。この2文字を取り換えた方が普通じゃないかなと思います。

(伊藤会長)

これから直すにしても結果として事務局でお願いするしかないですが。では、確認します。松本委員の意見で私が食い違いをしていなければ、「地方(地域)」は良いとして「地方が持続的発展を進めるためには地方が」にした方が良いという意味でよろしいですね。

(松本委員)

それで3行目も同じように「地域の多様性」というのを「地方の多様性」といった方が良いのではないのでしょうか。

(伊藤会長)

結論としては2か所ですね。

(前田委員)

でも、「地方」とか「地域」とかいう場合、「地方」じゃなくて「地域」じゃないかなと思います。よく地方公共団体、国が地方の云々とか言いますが実際は市の物事をする場合、「地方の事業が発展する」というより、「地域」だと思います。

(松本委員)

もし、「地方(地域)」でやるのであれば、「地方」と書いてあるところを「地域」にして、これだけを「地域」に変えるか、どちらかがいいと言ったわけです。

「地域が持続的発展を進めるためには地域がそれぞれ異なった風習へ・・・。」だから二つ直さないで1行目の「地方」を「地域」に変えれば良いんじゃないかなと思います。

(前田委員)

ここは、狭い意味で言ってませんから。

(伊藤会長)

ただ、今の前田委員の意見に賛同というか、1行目の「地方」を「地域」にするかどうかはともあれですが、3行目の「地域の多様性」の「地域」は「地方」にしない方がいいと思います。

(西村委員)

ちょっとよくわからないのですが、3つのことを言っているのではないかと思います。一つは、風土、風習、文化も入りますね。産業構造もあって、地場の資源もあって、3つのことであれば、異なったというのがちょっとひっかかって。

(伊藤会長)

異なったという意味は、それぞれ青森なら青森という意味です。

(西村委員)

地域の特性に合ったという意味ですか。

(伊藤会長)

はい。そうです。

(西村委員)

もう一つ、「地方」と「地域」と「地元」という言葉がでてくるのですが、よくわからなくなってきました。「地元」ではなく、「地場」ではないかなと思います。

「地域が持続的発展を進めるためには、その多様な風習、風土、文化を活かし、その特性に合った産業構造を維持し地場の資源を云々」といったほうがよいのではないかと思います。

(伊藤会長)

この段階であまり変えてしまうのはどうかと思いますが。これは後々残るものですし、明らかにおかしいというところがあれば変えるべきですが。

(西村委員)

あとは、「多様な文化」というのと、「地域の多様性」というのと「多様」という言葉を二つ使っていますよね。これは読んでいてちょっと混乱してくるんですよね。

(伊藤会長)

実は、これは、ある有名な本の著者で地方自治専門の関西大学の先生が書かれたもので、家に帰ればその資料はあります。地方自治についてかなり詳しく書かれた文章を参考にして書いています。その先生も使っています。ただ、もし皆さ

んがよろしければ、一行目の「地域がそれぞれの異なった風習・風土、多様な文化」のところの「地域」を「地方」に変えるのがベターかと思います。

ただし、三行目の「地域の多様性」のところの「地域」は、私は「地方」には変えたくないです。これは、了解を頂いてもよろしいでしょうか。

(松本委員)

二行目の「地元の資源を活用して」のところの「地元」は「地場」にしますか。

(伊藤会長)

いいえ、これはこのままで良いと思います。

最終段階なのでどうしてもおかしいという部分だけでどうでしょうか。了解を頂けないでしょうか。

#### 【全 員 了 承】

(伊藤会長)

では、もう一度確認します。「地方(地域)の発展についていえば、地方が持続的発展を進めるためには地域が」の部分の「進めるためには地域が」が「進めるためには地方が」になります。

(前田委員)

よろしいんじゃないですかね。

(伊藤会長)

はい。ありがとうございます。

(山口副会長)

「表の4」「補助金の新規、廃止」とありますが「表-2」、「表-3」が補助金等になっていますし、これも「補助金等の新規、廃止」とした方がよろしいのではないですかね。

(伊藤会長)

そうですね。事務局としては、いかがでしょうか。

(事務局)

はい。では、これも統一して補助金等にしておきます。

(伊藤会長)

では、確認します。5ページの「表-4」「補助金の新規、廃止」の件数とありますが、「補助金」に「等」を入れます。

(西村委員)

表のところに、「別紙」と入れなくても良いですか。

(事務局)

去年の答申書には特に「別紙」とは入れていません。かがみのところに「別紙」と入れていただきますので。

今回この状態で正式に会長のところで承認を頂いて市長にお渡しする際には、「別紙」と入れさせていただきます。

(山口副会長)

24日の答申の時には「別紙」と入っているものと、そうでないものをお願いする形でいいですか。

(事務局)

はい。ご用意いたします。

(伊藤会長)

では、別紙の件についてはよろしいでしょうか。

(柴委員)

5ページについてですが、文言については、異議はないです。5ページの中央の「新規」「増額等」「合計」の下の「となった。」という部分ですがこれは中央にきていますね。

(伊藤会長)

そうですね。これは、右か左かどちらかサイドにした方がいいですよ。

(事務局)

はい。では、左詰めにさせていただきます。

(松本委員)

このほうがわかりやすいと思います。

(伊藤会長)

では、5ページを確認します。「表 4」「補助金の新規、廃止の件数」の「補助金」に「等」をつけます。

#### 【全 員 了 承】

(西村委員)

2の「審査結果の概要・評価方法」のところの「今回の諮問では、平成26年度新規要求のあった補助金」「平成26年度増額要求のあった補助金」「その他(平成25年度補正予算で増額となった補助金)が対象となっている。」とありますが、その前が平成26年度予算における補助金等のうち平成26年度新規要求のあった補助金ということはわかりませんよね。全体のうちこうなると。それが、新しく読んでいてわかるのかなと。この答申はサブタイトルが1、2、3とあるんですよ。これで言わなくてもいいのだけど2ページの最後の流山市長から平成25年11月5日付「平成26年度予算における補助金等について」の諮問を受けたと日付が入っているから特定はできるのですが、本当は補助金等についてのうち1、2、3ですよ。丁寧に言ってあげるのであれば、5ページの今回の諮問では、平成26年度予算における補助金等のうち、平成26年度新規要求のあった補助金 平成26年度増額要求のあった補助金とな

るのではないのでしょうか。

(松本委員)

前々回の時、ぼくがここの間に入れた方がいいじゃないかと言ったらあとで出てくるからいいという話になりましたよね。

(西村委員)

全体の26年度予算の中でやる何項目の補助金のうち、対象となるのは、これだよということですよね。

(伊藤会長)

そうですね。まあ、他の部分でも出てきますのであえて、繰り返しはしないでいきます。

(西村委員)

我々はわかっているのだけど、ぱっと読んだ人はわからないんじゃないかなと。

(伊藤会長)

大きな誤りがない限りはよろしいのではないのでしょうかね。3ページにも平成26年度流山市の補助金等総件数は122件と書いてあります。いわば、冒頭の部分にでていきますのでいかがですか。

(松本委員)

私はいいと思いますが。

(西村委員)

私は意見として言っています。審議会なのですから。

(伊藤会長)

ご意見としては貴重です。私の考えとして3ページの冒頭に総件数が122件あると記載されていますし、全体を読んで皆さんの了承は得ていますので、という意味で了解頂けないでしょうか。

(山口副会長)

もし、これを生かすのであれば、2ページの諮問のところの平成25年11月5日付「平成26年度予算における補助金等について」の諮問を受けたと、そこを生かして、このままいくかということですよ。

(西村委員)

対象となってということは、何かの対象ということなんですから。

(伊藤会長)

いかがですかね。

(西村委員)

平成26年度予算における補助金等のうち、 、 となった方がいいと思います。初めて読んだ人がぱっと読んでわかりやすいと思います。

(事務局)

これは、こちらで簡単に訂正できますので問題ありません。

(伊藤会長)

では、1行が2行になるのが怖いのですが、他への影響が及ばない1行のままでしたら問題ないです。では、事務局さんから今の訂正箇所を言って頂いてよろしいでしょうか。

(事務局)

はい。では今の修正箇所を申し上げます。「今回の諮問では、平成26年度予算における補助金等のうち、平成26年度新規要求のあった補助金、平成26年度増額要求のあった補助金、その他(平成25年度補正予算で増額となった補助金)が対象となっている」となります。

(伊藤会長)

はい。ありがとうございます。これでしたら一行でおさまるから問題ないですよ。

(事務局)

はい。大丈夫です。

(松本委員)

表4の表題については、21年度実績で、26年度だけが予算要求分ですか。平成21年度は予算要求分がなく年度と書いてあるだけでしたよね。

(事務局)

去年は、この表は使っていないですね。一昨年使っています。23年度は年度でとまっています。

(伊藤会長)

年度でとまっているんですね。

(事務局)

では、予算要求分を取りますね。

(伊藤会長)

では、確認します。5ページの表4の平成21～26年度予算要求分の「予算要求分」を取ります。ということでよろしいでしょうか。

では、念のため最初から確認します。5ページ表4のタイトル補助金に等を入れます。そして、括弧の中の平成21年～26年度予算要求分という文字がありますが、予算要求分をとって(平成21～26年度)で切ります。そして、真ん中の部分、2審査結果の概要、評価方法ですが今回の諮問では、平成26年度予算における補助金等のうち、と続きます。また、その少し下、新規、増額等合計のあとの「となった」を左詰めにします。6、7、8、9、10、11、

12はよろしいですね。最後の13ページの1行目「地域が」を「地方」にします。以上でよろしいでしょうか。

(前田委員)

私は、良いと思います。ひとつ、ひとつ確認してそれでOKでしたらそれでいいと思います。

(伊藤会長)

そういうわけで、事務局よろしいですかね。

(事務局)

今日ご指摘頂いたところを修正致しまして一度メールで送付させていただきます。

(伊藤会長)

当日でいいじゃないですか。

(事務局)

よろしいですか。

(松本委員)

会長と副会長だけでいいんじゃないですか。

(事務局)

わかりました。

(伊藤会長)

では、よろしいでしょうか。事務局から何かありますか。

(事務局)

来週の時間の確認ですが、12月24日の火曜日の答申日ですが午後4時からなので午後3時45分までにお集まり下さい。会長と副会長だけご印鑑をお持ち下さい。

(山口副会長)

いつものところでよろしいですね。

(伊藤会長)

では、確認します。12月24日は市長答申になりますので15時45分までに市長室の応接室に集合ということでよろしいでしょうか。おかげさまで無事第6回補助金等審議会が終了となります。

閉 議 16時15分

流山市補助金等審議会  
会長 伊藤治夫